

モノづくりの集積地 城北

地場産業生かした取り組みを進める

板橋区、北区、豊島区は光学・精密機器や印刷関連産業が盛んで、練馬区や杉並区ではアニメ制作会社が多く、日本最大のアニメ産業集積地になっている。中野区はICT・コンテンツ関連企業が多いなど、地域によって産業特性が異なる。各区では地場の産業の特徴を生かした新たな取り組みに着手し、いっそうの産業振興を目指している。



磨き上げた独自の技術 工業区としてさらに発展へ

インタビュー

板橋区は工業が盛んで、地場産業の光学・精密機器をアピールしている。2月に光学設計・製造の国際学会「ODF」を開催したのを機に、区内光学関連産業の支援を加速させている。東京商工会議所板橋支部会長、ルケオ会長の吉村健正氏に、板橋区の光学産業の歴史と展望について聞いた。

「板橋では古くから光学、印刷関連産業が盛んだ。戦前に軍需工場が多く、戦後間もないころも電力事情が比較的良かったことから、多くの工場が立ち並んだ。当時は主に双眼鏡が製造されており、外貨を稼ぐ筆頭として輸出していた。1960年代前半は日本の光学機器輸出額のうち7割が板橋で製造されていた。双眼鏡を手がける中、プリズムやレンズの研磨技術が向上し、カメラの製造も始めるようになった」

70年代になると大手メーカーの海外生産移転や為替の円高などもあり、産業のブランド化や支援に力を入れています。ODFを板橋区で開催したことも、産業のブランド化に貢献しています。

「坂本健区長も『板橋を光学の国際学会として発展させたい』という思いを持っており、ありがたいと感じています。11年に都立産業技術研究センターが北区から江東区に移転した際、区は独自の板橋産業技術支援センターを開業し、検査などにより、企業数は大きく減りました。現在も板橋に残る企業には、どのような特徴がありますか。」「磨き上げた独自の技術を持つ、ニッチトップの企業が残り、下請けではなく、自社ブランドを持つ企業も多い。当

「坂本健区長も『板橋を光学の国際学会として発展させたい』という思いを持っており、ありがたいと感じています。11年に都立産業技術研究センターが北区から江東区に移転した際、区は独自の板橋産業技術支援センターを開業し、検査などにより、企業数は大きく減りました。現在も板橋に残る企業には、どのような特徴がありますか。」「磨き上げた独自の技術を持つ、ニッチトップの企業が残り、下請けではなく、自社ブランドを持つ企業も多い。当

「参加者同士が互いに刺激し合い、能力を高め合っている。私の子どものころは、あちこちでレンズを研磨する音が聞こえてきて、工場の様子をのぞいていた。工場見学などを通してモノづくりの楽しさを伝えることが大切だ」

「光学」をブランド化



「ODF」は板橋区を中心とした城北地区には戦前に軍需工場が集中しており、光学・精密機器産業が盛んだ。戦後、それらの工場に働いていた職人が独立し、光学関連の町工場が多く生まれた。現在もトブコンなどの

大手企業から中小、零細企業まで多くの企業が集積している。光学関連の学術拠点にもなりつつある。理

「板橋区は大手や研究機関との連携も推進。12月に理研の板橋分所、13年7月に宇都宮大学と光学技術に関する連携協定を締結した。宇都宮大は、光学技術者の集いを2回、板橋で出張開催した。また14年10月に理研・宇都宮大、ODGの研究を同時開催する。板橋オプトフォーラム(仮称)を開く予定。これらを通して産業振興は、区が企業と研究者らをつなぐハブの役割を果たし、板橋を日本の光学研究の中心にする」ことを目指す。

東京都板橋区

「ODF」は板橋区を中心とした城北地区には戦前に軍需工場が集中しており、光学・精密機器産業が盛んだ。戦後、それらの工場に働いていた職人が独立し、光学関連の町工場が多く生まれた。現在もトブコンなどの

『光学の板橋』アピール 横の連携で新たな可能性

「参加者同士が互いに刺激し合い、能力を高め合っている。私の子どものころは、あちこちでレンズを研磨する音が聞こえてきて、工場の様子をのぞいていた。工場見学などを通してモノづくりの楽しさを伝えることが大切だ」

「参加者同士が互いに刺激し合い、能力を高め合っている。私の子どものころは、あちこちでレンズを研磨する音が聞こえてきて、工場の様子をのぞいていた。工場見学などを通してモノづくりの楽しさを伝えることが大切だ」

「参加者同士が互いに刺激し合い、能力を高め合っている。私の子どものころは、あちこちでレンズを研磨する音が聞こえてきて、工場の様子をのぞいていた。工場見学などを通してモノづくりの楽しさを伝えることが大切だ」

板橋製品技術大賞

ITABASHI PRODUCT TECHNOLOGY PRIZE

板橋製品技術大賞は、板橋区内の中小企業による優れた新製品・新技術を表彰する場を創設することにより、区内企業の開発力、技術力を広く内外にアピールして、板橋区工業の振興を図ることを目的に実施しています。

ものづくりのまち板橋 今年の一押しを紹介

最優秀賞

GiR COSMOS ~究極のプラントシザー~

「指を切らないこと」の実現のために、13度という傾き角度に行きつくプロセスとその努力、手作りならではの細部までの形状設計、メンテナンスを含めた製品寿命の長さ等、匠の技と融合した優れた製品であることが高く評価された。

株式会社 ヒカリ
板橋区幸町25-8
Tel: 03(3973)1626
URL <http://www.hikari-scissors.com/>

平成25年度受賞製品			
賞	製品・技術名	会社名・URL	受賞ポイント
審査委員長賞	ゲルマニウム製フレネルレンズ	日本特殊光学樹脂 株式会社 http://www.ntkj.co.jp/	軽量化・省スペース化の実現など、フレネルレンズの進化や汎用性を感じさせる製品
優秀賞	TAPE-SHOT (書籍用ワンタッチテープ貼付装置)	株式会社 ダイワハイテックス http://www.daiwa-hi.co.jp/	実用的で安価、作業性の向上と労働負荷の軽減、環境配慮など
	器具用カパーシューズてくてく	株式会社 y-brace http://www.y-brace.com/	利用者が少数でも、困っている方々のために取り組む社会性、ニーズ対応のための軽量化への努力など
会長賞	三軸測長器	日本メカニク 株式会社 http://nichimecha.jp/	二軸方向の測定器で簡単に使える物が見当たらない中で三軸の実現、精度を実現した技術力
	Air Force One アナログターンテーブル	株式会社 ステラ http://stella-inc.com/	アナログレコードプレーヤーの技術をやみくもに捨て、マニア向けにグレードを高めたこと
環境賞	HOTデシュラン2	株式会社 琳瑯堂 http://www.rinso-do.jp/	極めて小電力で炊飯・調理ができ、食事後の洗いものも少なく、非常に無駄が少ないこと
審査委員賞	タブテープカッター EL-200	株式会社 エルム・インターナショナル http://www.elminter.co.jp/	タブを作るという非常に良いアイデア商品であり、機構もシンプルで価格が安価
	バランス・動作改善マシン「ホグレル」~ディッピングミニ 2013 介護仕様~	是吉興業 株式会社 http://www.hogrel.com/	男女差、体格差、年齢差等の利用者への対応できる柔軟さを具現化
	CS-A3000 (芯出し顕微鏡(レンズ偏芯測定機))	株式会社 アソー http://www.kk-aso.jp/	職人の熟練度に依存していた部分をデジタル化するソフト開発、測定のバリエーションの広さ
	自由曲線斜め切りカッター	株式会社 ヒューマンテック http://www.humantech.jp/	量のようなものを斜めに切断することを、刃先に微振動を加える工夫で実現した新規性
	ショーケースヒンジ	トックベアリング 株式会社 http://www.tok-bearing.co.jp/	より少ない力での開閉を実現し、汎用性を感じさせる製品
	NISSHIN スーパーオートカッター (住宅用部材加工機械)	日新興産 株式会社 http://www.nisshin-koosan.co.jp/	精度・速度面で他社よりも優位性を持ち、また端材の発生を最低限に抑えたことなど

※会長賞 上段:板橋産業連合会、下段:東京商工会議所板橋支部

◆お問い合わせは…公益財団法人 板橋区産業振興公社 事業グループ
TEL 03-3579-2192 FAX 03-3963-6441
E-mail: khk@itabashi-kohsha.com URL: <http://www.itabashi-kohsha.com/>
*上記の受賞製品のほか、過去の受賞製品を板橋区産業振興公社のWebサイトで紹介しています。